

## 1. プラチナ倶楽部・2009

ニューズレター No.178 で紹介された 10 月 24 日(土)のプラチナ倶楽部慰問には、大町キャプテンと 6 人の水兵が出演。ポニーで使っていた MD カラオケをバックにキャプテンが殆ど一人舞台の有様。

催促してやっと 6 人の水兵の出演となり、「出船」など 3 曲を歌いました。そのあと、おばあちゃん達のリクエスト曲(予め用意された)を皆で合唱しました。



途中ティーブレークを含めて 1 時間の予定を超えてしまいました。KY を読んだキャプテンのトークもいつも通りで、十分に楽しんでいただけたと思います。(出演の山本さん記)

## 2. 扇山ハイキング

中央線の相模湖を過ぎると新緑の河岸段丘が車窓を和ませてくれる。各駅停車で鳥沢駅に下車する。今日の目的の扇山(標高 1137.8m)を地図で見ると中央高速の談合坂サービスエリアの裏側に当たる。9 時丁度発のバスで梨の木平へ。土日だけ、しかも一日 1 本しか走らない貴重なバスだ。

キャンプ場で給水し、いよいよ登山開始。登山客 10 数人、若い女性二人のピンクやグリーンのカラフルなハイカー姿がまぶしい。今日の参加者は、本間、山本、伊藤、長崎、高井の 5 人。昼の「芋煮鍋」に思いを馳せ、ひたすら登る。鍋、コンロ、ガスボンベ、醤油、砂糖、里芋、牛肉、大根、葱、シメジ、豆腐、こんにゃく、うどんなどそれぞれ分担してリュックの中に。

今日は爽やかな五月晴れで絶好の登山日和だ。中腹の水場を過ぎ、木々の間から雪を抱いた富士山が遠くはっきりと見えてきた。1 時間半ほど登ると、あっという間に広々とした扇山山頂に到着。山桜が可愛く咲いて迎えてくれる。さあ、芋煮の準備。手慣れた本間料理人の指導で味付け、具を入れ、じっと待つこと 45 分でグツグツと芋煮のできあがり。それぞれ思い思い持参の皿に盛ってすする。おお美味じゃ!ビールと日本酒と焼酎で乾杯!最高、最高!!!合唱団の登山らしく即興での歌も飛び出した、が、T1 が調子っぱずれでコーラスにならなかった!残念!



最高、最高!!!合唱団の登山らしく即興での歌も飛び出した、が、T1 が調子っぱずれでコーラスにならなかった!残念!

隣で休憩していた夫婦に記念写真のシャッターを依頼。お礼に暖かい芋煮をお裾分けすると「山でこんなに美味しいものにありつけたのは初めて。」と、逆に感謝される。

満腹、ほろ酔い加減でいよいよ下山、富士山ともお別れだ。一路「君恋温泉」へ。途中、雉うちもすませ、1 時間強で到着。小さな温泉宿なので、先着ハイカーがいて入浴まで薄暗い居間で順番待ち。ここでもビールを注文。付け出しの季節の唐辛子入り筍煮が美味しかったのでまたまたピッチがあがる。同じコースをたどったカラフルな女性二人組は、ここでタクシーを呼んで駅に向かったが、名前ほどロマンチックじゃない温泉で汗を流した我々は、四方津駅行きのバスが来る犬目(いぬめ)停留所までのだらだら坂を下る。ここは、旧甲州街道の宿場町だ。立派な門構えの家の前にたたずんでいた米寿の老人としばし話をしながらバスを待つ。静かな集落には、青空に鯉のぼりがのどかにはためいていた。(文責 高井)

## 3. 愛する心のうた - 海・平和を願って -

7 月 15 日の夜、表記コンサートに賛助出演しました。企画・主演の岡野雅代さんが練習会場に来られ、出演依頼をされた日は定演の 2 日前でしたが、大町キャプテンは二つ返事で OK。その後、チラシの文章などのやりとりをするうちに、もう逃げるわけにはいかない。

当日は懐かしの MM 小ホールで、45 名が定演曲から 5 曲を演奏。大きな拍手をいただきました。その後は客席で、じっくりと聴きましたが、個人的には「だからその海をみない」が印象的でした。

ところで、我々はシーシャンティ(shanty)を歌いましたが、このコンサートの目的の一つは、シャンティ国際ボランティア会へのチャリティ。シャンティ(Shanti, Santhi, Shanthi)は、サンスクリット語で、至福を意味する平和、休息、平穩、静けさ、無上の幸福、なのだそうです。

シャンティ会はアジアの子どもたちへの支援活動などを長く続けてますが、ミャンマー(ビルマ)の軍事政権で迫害を受けタイの難民キャンプで暮らしている難民への教育支援も行っています。9 月 28 日には難民 3 家族 18 名が来日し、日本で定住にむけて研修を始めています。(山路記)



< 出演前に MM の 6 階口ビーで集合写真 >

[編集後記] 定演前の行事で気になっていた 3 件をようやく掲載することが出来ました。プラチナは昨年 11 月。扇山ハイキングは記事に日付がないですが、5 月 1 日。私は先約の田植えに行くしかなく欠場。山の鍋は旨いんですね。愛する心のうたもようやく掲載。次は周南かな。(B2:山路)